

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 15 日

事務事業名		義士親善友好都市参画事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	060103000279	
						単独/補助	単独			
政策体系上の位置付け								所属課	010201	
政策体系	総合計画の施策名	0601 市民協働のまちづくり							企画課	
	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり						課長名		
	施策名	01 市民協働のまちづくり						グループ	企画グループ	
	手段名	03 ③市民の連携による地域づくりの推進						担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	08	01	00	単年度繰返し (平成17年度~)			
法令根拠							企画事業			
						→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 【事務事業の内容】 忠臣蔵にゆかりのある全国自治体が集う「義士親善友好都市交流会議 (忠臣蔵サミット)」に第1回交流会議 (平成元年に開催) から真壁町が参加しており、平成17年10月の合併後も引き続き参加している。 交流会議は、持ち回りで毎年開催され、毎回テーマを設定し、その取り組みについて参加自治体が発表する形で行われている。 また、平成8年には、加盟自治体による「義士親善友好都市における災害応急対策活動の相互応援に関する協定」が締結され、現在23自治体が、災害時における物資供給や人的援助について連携していくことになっている。(平成23年3月11日の東日本大震災では、平成23年度義士サミット開催予定の兵庫県加東市より義援金10万円、北海道砂川市より義援金10万円、赤穂市より義援金10万円を受けている。)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・義士親善友好都市に関する事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・義士親善友好都市に関する事務	交流会議への参加	回	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
義士親善友好都市 (忠臣蔵サミット) 参加自治体	参加自治体数	自治体	32.00	0.00	32.00	32.00	32.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
情報交換等による交流促進 災害時における相互の物資供給や人的援助	忠臣蔵サミット出席自治体数	自治体	14.00	0.00	15.00	16.00	16.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源	千円	159	0	301
	事業費計 (A)	千円	159	0	301
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
				08 旅費	246	
			18 負担金補助及び交付金	55		
			合 計	0		
					合 計	301

事務事業名	義士親善友好都市参画事業	事務事業No.	60103000279	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成元年に兵庫県赤穂市の呼びかけにより、「赤穂義士ゆかりの地」の所在する全国の自治体が親善と友好を深めながら情報交換を行い、地域の活性化と発展向上のために相互協力していくことを目的に創設された。第1回より真壁町が参加し、合併後も引き続き参加している。 平成8年から、忠臣蔵サミット加盟自治体が「義士親善友好都市における災害応急対策活動の相互応援に関する協定」を締結し、災害時や物資供給や人的援助を受けられるようにしてある。(現在23自治体が加盟している。)					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？					
意見や要望はない。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 他自治体との交流促進は市の政策体系に結びつく。また、災害時応援協定の締結は、安全・防災対策の充実にも位置づけられる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 他自治体との連携によって地域づくりの研究を行うことは必要である。また、災害時応援協定による防災体制の構築は、公共性の高い事業である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 自治体間の親善と友好を目的とし、交流会議のほか観光物産交流等による一定の成果が出ており、現時点で向上の余地はない。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 災害発生時には、非被災自治体による各種応急復旧活動等の支援が必要であり、廃止休止による影響は大きい。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない なし
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は、「義士親善友好都市交流事業実施要綱」に基づいた負担金であり削減は難しい。交流会議に関わる業務(会議出席、意見調整、資料作成等)に限定しており、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担を求める性格の事業ではない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・義士親善友好都市交流会議参加自治体が順番に開催地となり会議を開催しているが、桜川市内で開催することは困難であるため、今後も開催地に出向き交流を続けていく必要があると思われます。	
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>